

☆田平天主堂の歴史☆

100年ほど昔…人々は生活が苦しいながらも…



天主堂建設にむけ、海岸から手作業で重いレンガを運ぶなど、みんなて協力していました。

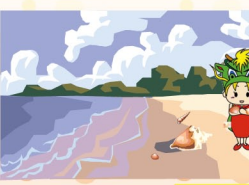
ここで!!

クイズ



だよ!

人々は田平天主堂を建てる際に、たくさんの貝がらを集めました。一体何に使われたのでしょうか?!



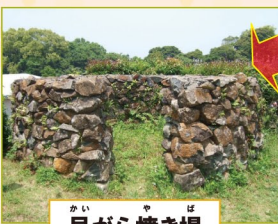
それぞれ家で貝を食べ、そのからを持ってきて集めたそうです!

1つ選ぼう!



解説

貝がらを、〇〇〇にするためには…?!



貝がら焼き場

集めた貝がらは、この窯の中で時間をかけて熱してから、細かく砕くなど加工し、レンガとレンガをくっつける材料として使われました!

たくさんの人々が、こうした努力と工夫を続けて…

ついに…

田平天主堂、完成!!



ひとりひとりが力を合わせれば、困難も乗り越えられるんだね☆



みなさん、田平天主堂を訪ねてみてくださいね!!

次回もお楽しみに!

☆田平天主堂の場所を紹介します☆



田平天主堂は、平戸市の田平町にあります。

右上にある田平天主堂をはじめ、世界遺産候補が長崎県にあります。上の地図を見て確認してね!



緑にかこまれた天主堂の風景



鉄川与助さんをご存知ですか?!

この方です!! 明治12年(1879年)、現在の新上五島町生まれです。外海のド・ロ神父からも、建築について学んだといわれています。



鉄川与助さん

鉄川さんについては、またこれから少しずつ紹介していきます♪



外海の出津教会堂
ド・ロ神父

私は、西洋の教会建築の技法を学び、長崎の教会をたくさん建てました。

まだまだあるよ!

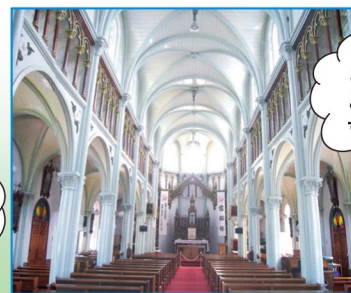


右側

後ろ側

左側

横にある出入口



柱の上の壁に、花の飾りも見えたよ!!

こうもり天井と呼ばれたりするんだよ☆

教会全体が鉄川さんのデザインでいっぱいです。

教会内の天井は、アーチを使った「リブ・ヴォールト天井」です。長崎市にある大浦天主堂も同じ形です。この天井の技法は、鉄川与助さんの得意技の1つです。

あつぱれ!!

会いにきてね!
これからの世界遺産に!

世界遺産ニュース

No.14

平成25年7月



長崎の教会群を世界遺産へ

発行

長崎県教育委員会

世界遺産登録を目指す、県内の構成資産を今後紹介していきます!
第3回「田平天主堂」



美龍